

[ワンコ基礎知識へ](#)

ワンコ基礎知識

《2. ボディ・コンディション・スコア (BCS) とは》






■ボディ・コンディション・スコア (BCS) とは

元々、ボディ・コンディション・スコア (BCS) は、乳牛の太り具合（体脂肪蓄積量つまり肥満度）を数値で表す指標として使われていたのを応用したものです。

近年、パートナーの太りすぎも大きな問題となっています。ただし、太りすぎかどうかの判断は意外に難しく、同じ犬種でも体格にかなり個体差があるため、犬種ごとの標準体重との比較で単純に肥満と決めつけることはできません。

そこで、ボディ・コンディション・スコア (BCS) という方法で体形をチェックしますが、判断に迷うときは、まずかかりつけの獣医師に相談する事をお勧めします。

▼ボディ・コンディション・スコア (BCS) の基準

| BCS | 体形 | 区分 | 体重 | 体脂肪 | 肋骨 | 腰部 | 腹部 |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------|------|----------|--------|--------------------|------------------------------------------|---------------------------------------------------------|
| 1 |  | 削瘦 | ≤85% | ≤5% | 脂肪に覆われず容易に触知できる | 皮下脂肪がなく骨格構造が浮き出ている | 腹部ひだは深くなり強調された砂時計型を呈する |
| 2 |  | 体重不足 | 86～94% | 6～14% | ごく薄い脂肪に覆われ容易に触知できる | 皮下脂肪はごくわずかで骨格構造が浮き出ている | 腹部ひだがあり顕著な砂時計型を呈する |
| 3 |  | 理想体重 | 95～106% | 15～24% | わずかに脂肪に覆われ触知できる | なだらかな輪郭またはやや厚みのある外見で、薄い皮下脂肪の下に骨格構造が触知できる | 腹部ひだがあり適度な腰のくびれがある |
| 4 |  | 体重過剰 | 107～122% | 25～34% | 中程度の脂肪に覆われ触知困難 | なだらかな輪郭またはやや厚みのある外見で、骨格構造はかろうじて触知できる | 腹部ひだや腰のくびれはほとんどあるいは全くなく、背面はわずかに拡がった状態 |
| 5 |  | 肥満 | 123%≤ | 35%≤ | 厚い脂肪に覆われ触知が非常に困難 | 厚みのある外見で、骨格構造は触知困難 | 腹部が張り出して下垂し、腰のくびれはなく背面は顕著に拡がった状態／脊柱周囲が盛り上がると溝を形成することがある |

[ワンコ基礎知識へ](#)